

地域再生計画(污水処理施設整備交付金)の事後評価について

都道府県名	岡山県	事業実施主体	新見市	地域再生計画名	新見市清流再生計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	事業期間	平成22年度～平成26年度		

①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標		基準値		目標値		実績値			達成状況に関する評価
			基準年度	H22	年度	H26	基準年度	H26	評価	
指標1	污水処理施設の整備促進(污水処理人口普及率74.1%から86.1%に向上)	74.1%	H22	86.1%	H26	86.2%	H26	○	污水処理施設整備交付金の活用により、污水処理施設整備の効率的な実施ができた。	
指標2	環境保全活動「市内一斉クリーン作戦」の市民参加者の増加(10%の増)	6,000人	H22	6,600人	H26	4,000人	H26	△	污水処理普及率が上がり、市民の生活環境の改善、環境保全意識は向上したが、参加者の増加には至らなかった。(5年間の平均5,600人)	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標1									
③事業の進捗状況	事業名	整備量(その他の事業での取組内容)		目標達成に対する評価及び今後の対応						
		計画	実績							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業 (整備延長、処理場)	管渠 L=17,300m (単独L=4,000m)	管渠 L=15,501m (単独L=4,231m)	污水処理人口普及率の向上に寄与し、新見処理区の公共下水道は唐松地区の一部を残し概成した。						
	農業集落排水事業 (整備延長、処理場)	管渠 L=2,370m (単独L=450m) 処理場 1箇所	管渠 L=2,271m (単独L=289m) 処理場 1箇所	污水処理人口普及率の向上に寄与し、市内の農業集落排水事業は全て完了した。						
	浄化槽(市町村設置型) (整備基数)	200基	185基	整備基数が当初計画策定時の120基より65基増えるなど、市民からの設置要望も高い。更に整備を推進していきたい。						
その他の事業	環境保全活動推進	新見市環境衛生協議会主催の不法投棄ゴミの収集		「市内一斉クリーン作戦」と称し、住民共同による環境保全活動推進のため、地域の美化活動として市内の一斉清掃を毎年行った。今後も継続的な活動を推進していきたい。						
	環境保全の普及・啓発活動	広報誌等で環境保全について普及啓発をする		新見市の広報誌「市報にいみ」で環境保全活動に関する記事を毎年掲載し環境保全についての普及活動を行っている。今後も資源循環型社会の形成に向けて記事の掲載を行いたい。						
	環境学習等を推進	市内小学生を対象とした環境学習を実施		環境について学習する小学校4年生を対象に、毎年6月頃、クリーンセンターや浄化センターなどを見学し、ゴミの分別や減量化、水の浄化、環境美化などの大切さについて学習おり、5年間で延べ1348人が学習をした。今後も継続的に実施していきたい。						
計画外で独自に実施した事業										
④計画全体の総合評価	<p>本再生計画では、污水処理整備交付金を活用し新見市の污水処理人口普及率の向上に取り組んだ。公共下水道区域においては金谷・石蟹・長屋・唐松地区の管渠埋設工事をほぼ完了し、新見市の公共下水道事業の概成を進めることが出来た。上熊谷地区の農業集落排水事業においては、新見市の計画予定地区として最後の地区であり、その整備が待ち望まれていたところであるが、計画どおり実施され、污水処理人口普及率の向上に寄与した。浄化槽整備においては、当初計画策定時の120基より大幅な実績増となり、生活環境の改善や河川等の水質浄化を促進した。事業の実施は概ね目標どおり達成できたものと考えている。今後は接続率の向上に努めたい。</p>									